



旬彩処 『ふるすき』オープン

三文字地区商店街に 新鮮野菜・特産品販売所が誕生

2月11日(金)、三文字地区商店街に、町内でとれた新鮮な野菜や果物、特産品などを販売する『旬彩処ふるすき』がオープンしました。

この店舗は、空き店舗問題の解消と商店街の活性化を図ることを目的に、大崎町商工会が平成15年度から計画を進めてきたもので、鹿児島県商工会連合会が主体に行っている『うるおいのまち整備事業』を活用し、国・県などの補助を導入して設置されました。

経営については、町商工会運営委員会が行い、約12坪の店内の一角には、月3,000円のレンタルスペースも設けられ、民芸品やアメリカンフラワー、健康茶なども販売されています。この『ふるすき』という店名は、「ふるさとが好き」・「まるごと(FULL)大好き」を掛け合わせて、名づけられました。運営委員長の小牟田浩さんは、



▲来店客でにぎわう店内

「地域の方々に愛される、なくてはならない店にしていきたい。」と話されました。

当日は、朝10時にオープンし、店内はつめかけたお客さんで混み合っていました。場所は大崎町役場近く。営業時間は、午前10時から午後6時までで、3月いっぱいはいは休まず営業します。

【問い合わせ先】

大崎町商工会
TEL 76-10136